

地域を支えるために 今、できること

市では、各種事業を展開し、市内事業者を支援。しかし支援事業だけではなかなか以前のような活気は取り戻せない。地域全体で地元の事業所を支えていく対応が求められる。

市内事業者向けに 各種支援事業を展開

市では、市内事業者のさまざまな意見を踏まえた上で、独自の支援策を展開。市公式ホームページで地元の飲食店を「地元商店応援運動」として掲載したり、フェイスブックアカウント「Toméごはん」でデリバリーやテイクアウトサービスを実施している飲食店を紹介したりしている。

また、デリバリーやテイクアウトサービスを実施している事業者に対しては、使い捨て容器の購入代金などを支援する「飲食店需要創出支援補助金」の実施や、中小企業振興資金の利子支払額に対する支援を拡充。7月1日からは、国の持続化給付金の対象外になった事業者に向けて上限20万円を給付する「経営維持臨時給付金」の申請受付を開始する。



市公式HP
地元商店応援
運動掲載店

以前の活気が 取り戻せるような支援を

今後は、市で事業者を対象に6



市産業経済部
地域ビジネス支援課
主査 金澤 健治

月に実施した経営状況調査のアンケート結果を参考にし、売り上げが落ち込んでいる事業者が回復するために即効性のある支援事業を検討していく。

市産業経済部地域ビジネス支援課の金澤主査は「市として、各事業者が以前のようにやりがいを持って仕事ができるように支援を続けていきたい」と意気込みを語る。

地元団体や企業ができる 支えるかたち

また、市では感染症対策によっ



「花を飾って地域を応援運動」で購入したスプレー菊を配るみやぎ登米農協職員。

て売り上げが落ちた飲食店を応援すべく、職員によるデリバリーやテイクアウトの積極的な利用を推進。

みやぎ登米農協の互助会では、「花を飾って地域を応援運動」を実施。市内の農業関係団体に対し、花卉類の消費拡大を呼び掛けるなどして、市内事業者を支援している。国や県、市からの支援策だけでなく、地元さまざまな団体や企業が、積極的に市内事業者を利用することで、地域が以前のような活気を取り戻す一助へとつながっていく。

登米市新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の 申請期限は6月30日まで

県からの要請や協力依頼に応じて、施設を全面的に休業した事業者や営業時間を短縮した飲食サービス業を営む事業者を対象にした登米市新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の申請期限は6月30日(火)までです。支給希望者は、期限内に郵送にて申し込みください。

【問い合わせ】産業経済部地域ビジネス支援課(地域ビジネス支援係) ☎0220(34)2706

地域で乗り越える

市内では、市民一人一人が外出自粛を徹底し、予防したことで、新型コロナウイルス感染症の拡大を抑えることができました。

次は、地域全体が皆さんの支えを必要としています。昔から長く営業を続け、地元を笑顔にしてくれたお店やこの地域を好きになって営業を始めたお店が、今、厳しい状況に直面しています。

市民一人一人が、地域に対して「今、できること」を考え、実行することで、必ず以前のような活気を取り戻すことができます。

地域全体でこの困難を乗り越えていきましょう。

